

昭和二十五年三月十四日提出
質問 第八六号

国立相模原病院の強制退院に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十五年三月十四日

提出者 荻田アサノ

衆議院議長 幣原喜重郎 殿

国立相模原病院の強制退院に関する質問主意書

国立相模原病院においては、医療券のない者等約九十名を強制退院させるという説が流布され、内部患者は相当動揺している。これは、単なる風説として打ち消してよいものか。もし実際にかかる計画を厚生省として、又は病院として考えているならば、その具体的方法につき回答されたい。

なお、退院させた場合、その後の処置につき厚生省としていかなる対策を考えているか。
右質問する。